

子育マジヤナル

発行人 四ツ金雅彦
 公益社団法人 全埼玉私立幼稚園連合会・幼児教育センター
 全埼玉私立幼稚園PTA連合会
 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-13-21 私学会館新館
 TEL 048(863)7811 FAX 048(863)7761
<http://www.youchien.ed.jp>



No.88
 2018(H30)年
 11月

「生きる力」を育む教育

電車にて 一人として大切なこと――



(公社)全埼玉私立幼稚園連合会
名誉会長 平原 隆秀

先日、ホームで電車待ちをしていました。長旅の帰りでとても疲れていたため、一緒にいた付き添いの先生が足元に優先席マークがある場所を見つけ、先頭に並ばせてくれました。電車が入つてくると座席はほぼ満席でしたが立っている人はおらず、三人がけの優先席に一つ空きがありましたので、「ようやく座れる」と、ほっとしました。

しかし、ドアが開いたその時、後ろから若い女性がさつと入り込んで、その席に座ってしまったのです。私は呆気にとられてしましました。周囲を見回すと立っているのは私達二人だけ。

私は、何とも情けない気分になってしまいました。もちろん、若い人でも体調が悪かったり心身が疲れていたりして、立っていることが辛い時は誰にでもあるでしょう。また、一般席なら、

他に空席も見当たらないので、仕方なくそのまま優先席の前に立っていました。

目の前に座った女性の両脇には、きちんととした身なりの三、四十年代くらいの男性と、仕事のできそうなO・Sらしさ女性が座っていました。若者が座ってしまう様子は見ていたようですが、三人揃って下を向いて携帯電話をいじっています。諦めて

背後の優先席を見ると、やはりスーツを着た同年代の男女が座っています。ところが、一駅過ぎても二駅過ぎても、声をかける人も、席を立つ人もありませんでした。

たくさん勉強して学歴を高めたり、色々な習い事をして様々なスキルを身に付けたりすることも必要かも知れません。しかし、それ以前に履歴書には書かれないと「心」の価値が見失われてはいないかと、少し心配になつた出来事でした。

席を譲られないのもやむを得ないかも知れません。が、これだけたくさんの大人が皆無関心(を装う?)といふ状況に、私は今の日本の現実を見た気がしました。我が国は災害時の譲り合いの精神やW杯でのごみ拾いなど、世界的にはとてもマナーのよい国だと認識されています。しかし、最近、日常の中では「江戸しげさ」と呼ばれるような日本人らしいほんの少しの譲り合いや思いやりが著しく希薄になり、「俺が俺が」という雰囲気を強く感じるのです。

保育室を覗くと、主活動の課題をあつという間に終わってしまう子、一人で黙々と取り組む子、解らなくて不安そうに先生の姿を目で追つている子、なかなか「先生」と声を出せない子、先生はそんな子どもたちを注意深く觀察し、できることを褒め、時には少し手伝つてあげ、子どもたちができた達成感を味わえるように工夫しています。それが、次の成長のきっかけとなり、つながっていきます。子どもたちは、自ら成長する力を持つています。関わる大人は、応援団であり道案内人であり、守り人である気持ちをもつて、温かく見守つてあげませんか。安心して素直に成長してくれることでしょう。

シリーズ 子育ての知恵45
十人十色
 土屋 功一

沢山の子どもたちと毎日関わつていると、改めて一人ひとりが違うことに気付きます。

毎日元気に、「おはようございまーす!」と登園してくれる子。お母さんとしっかり手を繋ぎ半分隠れながら小さな声で「おはようございます」とあいさつしてくれる子。

童謡100年と子育てにおもう

今年は童謡の誕生から100年という節目の年ですが、大正時代に誕生した当時の童謡は「歌」ではなく、子ども向けの「文学」だったことをご存知ですか？

文語体で教条的な内容が多かつたそれまでの文部省唱歌や説話に対し、夏目漱石の門下にいた鈴木三重吉は、有志の文学者を募って童謡雑誌「赤い鳥」を創刊しました。さらに創刊の翌年には曲譜集も発刊されるようになりますが、童謡の歌曲化に対しでは当初から賛否両論があつたといいます。

そこで作曲を担当した音楽家たちは、単なる音符ではなく、日本語の抑揚やイントネーションを美しく再現する旋律性にこだわりました。日本を代表する文学者が描いた世界觀を損ねることなく、同じく日本を代表する音楽家が作曲した作品こそが、創成期の童謡だったと言えましょう。

昭和三〇年代以降になつて、歌曲性のみを偏重する作風が広まるにつれ、その文学性は次第に置き去りと

なり、結果的に童謡は衰退しながら後半の半世紀を経て今日に至ります。そうした中、私が主宰する音羽ゆりかご会は、戦前から活動を継続する唯一の合唱団として大正時代からの「赤い鳥童謡運動」を継承していま

すが、その練習時間の大半を歌詞の解釈に費やすレッスン風景をご覧になると、多くの皆さんは驚かれるよう

さて、子どもの成長には、それぞれ個性があるものです。言葉は早いが落ち着きのない子もいれば、動作は遅いけど觀察力の鋭い子もいます。身体が大きい割に精神面が不安定な子もいれば、運動は苦手だけど感性が突然いなくなつても生き抜いていく力を身につけさせることに尽きます。

そのためには第一に「命の尊さを教えること」、第二に「コミュニケーション能力を身につけさせる

こと」、そして第三に「自分の可能性を信じる心を持たせること」です。現代社会のように、何となく平和で、何となく閉塞感のある社会で子育てをしていると、この本質を見失つてしまいそうになることが時々ありますよね？

我が家もまた5人の子育て中ですが、同じ親のもとで育ち、たつた5歳かな子もいます。私が家もまた5人の子育て中ですが、同じ親のもとで育ち、たつた5歳かな子もいます。

私の本業は「音楽家」ですが、この業界には「音感教育は早いほどいい」という暗黙の合言葉(?)が存在します。

守つてあげることでしよう。

花の種を蒔いたら、少しでも早く

美しい花を見たくなるのが人情です。しかし、早く芽を出して欲しいばかりに水をやり過ぎたり、発芽を確認したくて土を掘り返したりすれば、その芽の命は失われてしまうかも知れません。

子育てとは何か：それは、保護者が突然いなくなつても生き抜いていく力を身につけさせることに尽きます。

そのためには第一に「命の尊さを教えること」、第二に「コミュニケーション能力を身につけさせる

こと」、そして第三に「自分の可能性を信じる心を持たせること」です。現代社会のように、何となく平和で、何となく閉塞感のある社会で子育てをしていると、この本質を見失つてしまいそうになることが時々ありますよね？

しかし、これは歌や音楽に限ったことではありません。：よく子どもに「〇〇をやらせている」という保護者の声を聞きますが、やらされている子どもにとつては何とも迷惑な話です。

最終的な人生のゴールをどこに設定しているのかにもよりますが、それが「子どもの生きる力を構築すること」であつたり、「子どもに充実した幸せな人生を歩ませる」ことであれば、子どもが夢中になれることを見極めてやるのも保護者の仕事です。

それは必ずしも（対外的にウケのいい）英会話やプログラミング教室でなくともいいのです。そうやって個性を大切に育まれた子どもは、必要があれば勝手に語学だって、プログラミングだって、身につけていくものなのです。

知識を身につけるには適切なタイミングがありますが、そのタイミングは、本人が必要性を感じた瞬間以外にありません。保護者ばかりが慌てて、様々な塾に通わせたところで、内面的な成長を伴うことはほとんどなく、結果的に社会に出てからドロップアウトしてしまう危険だつてあるのです。

子どもたちを年齢で区分けしたり、比較したりするのは大人の悪いクセです。そういう大人が多い環境で

幼稚園と子どもと親

子どもの成長、親の成長

上尾みどりが丘幼稚園 小林 くに子

卒園式の日、子どもたちに向け、心に咲いた三つの花について話します。一つ目は「やさしさの花」思いやりの気持ちが芽生えた時に咲きます。二つ目は「勇気の花」自分の力を信じ、挑戦してみる強い気持ちを持つた時咲きます。三つ目は「知恵の花」友達との関わりを通して自分で考えたり、意見を出し合って、一

幼稚園は家庭と連携しながら、子どもたちを育てます。保護者はわが子の成長に、一喜一憂し、私たちも忙しいという字は、心をなくすと書くから、なるべく言わないように決めていたのに、忙しいを散々言い訳にしていました。皆子育ては試行錯誤、反省の日々。

の時期、家庭での子育ては大変。お母さんも悩んだり、反省したり、いろいろな気持ちを吐き出しちゃうこともあります。子どもたちは真剣な表情で聞き入り、私たちは心が育つて卒園していく事を喜びます。

今一番大変だけど、充分頑張っているし、お母さんの子を思う気持ちは伝わっているから大丈夫」と話すのです。すると、お母さんの叱られて泣き寝入りしたわが子を見て、感情的に叱つたことを反省したり、のんびりな性格のわが子にイララとして待てなかつたり、忙しいという字は、心をなくすと書くから、なるべく言わないように決めていたとか。



ことを認めてもらえると、親として成長できるのです。

子どもたちの心を育てることはもちろん、子育て支援がしっかりとできる幼稚園になれるよう、努力の毎日です。

私は幼い頃から、母親に手を引かれ童謡を歌つて育ちました。しかし大人になって振り返つてみれば、そ

子育ては「種まき」です。やがて立派な花を咲かせ実りをもたらすまで、長い目で見守つていきたいものはと言えば「童謡」のおかげです。

育った子は、生まれながらの感性を喪失し、社会に適応することだけを目的に生かされる、無機質な人生を歩むことになってしまいます。

いま子どもに教えてあげていることが、決してその場しのぎの注意や叱咤ではなく、何年か先の成長を見越した上でアドバイスになつていいかどうかここが子育ての胆だと思っています。

たまたま講演会に居合わせたNHKの方が「言葉遣いが丁寧で美しい」と深夜番組を持たせてくださり、その放送を定期的に聴かれていた平原隆秀先生のお説いで私立幼稚園連合会の特別講師を拝命するご縁を頂いたのも、元はと言えば「童謡」のおかげです。

東京都出身の作曲家、音楽教育家。現在は音羽ゆりかご会(1933年創設)会長、全日本音楽教室指導者連合会(全音連)会長、日本童謡学会理事長、日本歌手協会理事、少林寺拳法東京西品川道院長、明治大学講師、埼玉県私立幼稚園連合会特別講師ほか。

「みかんの花咲く丘」「里の秋」等の作曲者海沼實を祖父に、また童謡歌手として一世を風靡した川田正子・孝子姉妹を伯母に持つ音楽一家で育ち、自身もまた「ヤン坊・マー坊天気予報」等のCMソングを歌つた元童謡歌手。

作曲家としては欧州での活動も多く1997年度、2000年度、2005年度、及び2010年度にはイタリア・ボローニャで開催のゼッキノドーロ国際児童音楽祭に作品がノミネートされ、それぞれCD化された。

2002年4月よりNHKラジオ深夜便にレギュラー出演、またNHK総合『助けて!きわめびと』では日本一の門下生数を誇る歌唱指導の達人として出演し、同局の情報番組「あさイチ!」等でも取り上げられた。

近著に『童謡 心に残る歌とその時代』(NHK出版)、『まだまだ歌は上手くなるI~III』『正しい唱歌・童謡のススメ』『発声の達人』『海沼實の生涯』(ノースランド出版)、『海沼實の歌の教科書』『海沼實のうたほん』『海沼實の唱歌・童謡読み聞かせ』(東京新聞出版)、『99%の人は歌が上手くなる』(実業之日本社)などがある。



海沼 実 先生

子育てで学んだこと

改めて思う「育児は育自」

認定こども園ふたば

望月美帆

子供たちの優しさ
なみきの幼稚園

近藤奈穂

常盤幼稚園

高鳥典子

立正幼稚園

藤間利枝

共に成長できることを目指して

立正幼稚園

インフルエンザ(季節性)対策

例年12月～3月はインフルエンザの流行シーズンです。インフルエンザ予防のためにはみんなの「かからない」「うつさない」という気持ちが大切です。しっかりと手洗いで予防して、マスク等せきエチケットを忘れないようにしましょう。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて一般的な風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。インフルエンザに感染しないためには次のことが大切です。

(1) 飛沫感染・接触感染を防ぐ

インフルエンザにかかった人のくしゃみや咳などの飛沫と一緒にウィルスが放出され、別の人人が、そのウィルスを口や鼻から吸い込み感染します。学校、職場、満員電車などの人が多く集まる場所が主な感染場所です。

インフルエンザにかかった人がくしゃみや咳を手で押さえ、その手で周りの物に触れるなどウィルスが付いて、別の人人がその物に触ってウィルスが付着し、その手で口や鼻を触ることで粘膜から感染します。電車などのつり革やドアノブ、スイッチなどが主な感染場所です。

アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。外出時なども手を顔に持っていないようにし、外食時も食事前は手洗いを心がけましょう。

(2) 発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。

・アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。外出時なども手を顔に持っていないようにし、外食時も食事前は手洗いを心がけましょう。

(3) 免疫力を高める

・免疫力を高めるため、ふだんから十分な休養とバランスの良い食事を心がけましょう。

(4) その他の予防対策

・免疫力を高めるため、ふだんから十分な休養とバランスの良い食事を心がけましょう。

・空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度(50%～60%)を保つことも効果的です。

比較的に急速に38度以上の発熱があり、せきやのどの痛み、全身の倦怠感を伴う場合はインフルエンザに感染している可能性があります。早めに医療機関を受診しましょう。

私の人生であれば大抵は努力で、たとえ困難なときでも気合と根性で乗り越えてきました。しかし、私が出会った「育児」というものには、自分の努力も気合も根性も全く通じないのです。泣くばかりの新生児を前に放心したことを思ひ出します。そこからはまさに五里霧中。出口はどこたず、育児書にも答えは見つからない。育児とはもう一度改めて自分を生き、自分を育てるということなのだから、そもそも子育てに正解はあるのか。今まで助けてくれた教科書も役に立たず、育児書にも答えは見つからない。育児とはもう一度改めて自分を生き、自分がお互いを思いやり助け合う姿を見て、とても温かい気持ちになりました。まだ子供と思つても、ちゃんと心は成長し、相手を思いやる優しい気持ちを持つてゐる二人をとても誇りに思ひ、これから先も兄弟で助け合い、いつまでも仲の良い兄弟でいて欲しいと思います。

あのころ必死だった十年前の私へ伝えた。「大丈夫。間違つてないよ。力を抜いて。子供たちは元気に育つているから。」

なみきの幼稚園

立正幼稚園

参考 埼玉県ホームページ

講演

「次代を担う子どもを育てる」

— 教職員中央大会 幼児教育フォーラムより —

講師：國學院大學教授 杉田 洋 先生



第32回全埼玉私立幼稚園連合会教職員中央大会&幼児教育フォーラムが、8月28日(火)さいたま市の埼玉会館で開催されました。「家庭・地域・幼稚園、良質な教育環境の創造を目指して～健全な次世代の育成のための良質な環境を創造しよう～」をテーマとし、会員園より970名の教職員が参加して盛大に行われました。第一部の教職員大会、永年勤続者表彰に続き、第二部の幼児教育フォーラムでは、國學院大學教授 杉田洋先生より「次代を担う子どもを育てる」と題し、ご講演いただきました。ここでは、要旨のみご紹介いたします。

子どもはさまざまな社会を経験しながら大きく育つ。もっとも小さな社会である家庭、幼稚園、小中高等学校と集団遍歴を重ねながら苦楽を経験し「お互い様」を学んでいく。2018年度から改訂された幼稚園教育要領にある「非認知能力の育成」に欠かせない、粘り強く、根気強く子どもと関わりながら、一人一人を把握する教育手法の重要性について説明されました。「社会が望む、大人に欲しい五つの能力」はコミュニケーション能力、主体性、チャレンジ精神、協調性、誠実性のことです。子どもたちは様々

な体験を通して、主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)を積みながら、「自分には良いところがある」という自尊感情を育み、物事に積極的に取り組むようになる。そもそも、乳幼児期に欠かせない体得とは具体的に何なのか。先生は参加者にある仕掛けで実感してもらいました。それは、1分間、隣の人の話を傾聴し、話し手へ同じ内容を自分の言葉で話し返す。その会話の終了方法を先生がマイクなしで数名にだけ合図します。この様子を他の参加者が察知して反応するというものでした。結果は、一度目は3秒で、二度目は2秒で参加者全員が気づき会話を終わらせました。このような感性を研ぎ澄まして関わり、その学びを経験させることはロボットにはできないと杉田先生は言います。また、できることを指摘するよりも、できそうなこと、できたことを見出し、認め、何をやったかではなく、どんな目的のためにやったかを大切にする姿勢や、一人一人の誠実な行動を認め、まじめな態度を尊重することが教育であると。「幼児期は人生の基盤を作る。教育関係者として常に温かい言葉と態度で子どもたちに接して欲しい」と熱いメッセージで先生は講演を締めくくられました。

埼玉県では、読書週間(10月27日～11月9日)に向けて、みんなで読んでいたい本を選びました。
平成30年度に選ばれた作品を紹介します。

ひよこさん

[著者名等] 征矢清／さく 林明子／え
〔出版社名〕福音館書店

〔内容〕 ひよこさんがひとりでおでかけ。だんらんくなってきて、はつぱのふとんでねんねしよう。ぐうぐうぐう。なんだからあつたかい。おかあさんが来て一安心。夜から朝にかけての使いが美しく、主人公のひよこが浮き立つように描かれている絵本。

きやべつぱたけの びよこり

[著者名等] 甲斐信枝／さく
〔出版社名〕 福音館書店

〔内容〕 はつぱの裏に変なものがはりついている。あるいは逃げていくが、ぴよこりは動かかない。朝になつてぴよこりの背中がぴりっとさけて、何かする蝶の姿が繊細に描かれています。

ひとりになったライオン

[著者名等] 夏目義一／文・絵
〔出版社名〕 福音館書店

〔内容〕 若いライオンが家族を離れて、はじめて一人で狩りをする。シマウマの子どもをねらうが、あと少しのところで失敗する。画面いっぱいの困ったライオンの表情が、魅力的です。画面いっぱいの大サバンナを舞台に、躍動感のある狩りの様子が生き生きと描かれています。

とのさまーねんせい

[著者名等] 長野ひづ子・本田力ヨ子／作・絵
〔出版社名〕 あすなろ書房

〔内容〕 遊びが大好きな殿さまは、「1年生はいやいや」と逃げこまり、隠れてしまいますが、あと少しのところで失敗する。画面いっぱいの困ったライオンの表情が、魅力的です。画面いっぱいの大サバンナを舞台に、躍動感のある狩りの様子が生き生きと描かれています。

とのさまーねんせい

[著者名等] ブリッタ・シッケントラップ／作・絵 木坂涼／訳
〔出版社名〕 ひさかたチャイルド

〔内容〕 どちらさんがねむっています。動物たちは、どちらを起こさないように、ふうせんを持ってどちらを飛び越えることにしました。みんなも動物たちを手伝つたり、どちらをなでたり、息をかけたり、たたいたり。どちらを起こさない理由はね。



価格 ¥1,400+税



価格 ¥1,300+税



価格 ¥1,400+税



価格 ¥900+税



価格 ¥800+税



平成31年度の推奨候補図書を募集しています

1 対象

平成30年1月以降に刊行された図書

2 区分

乳幼児、小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、

中学生、高校生・青年向けの6区分

3 応募期間

平成31年3月8日(金)まで(当日消印有効)

4 応募方法

詳しくは「埼玉県 推奨図書」で検索してください。

※居住または在学・勤務している市町村、氏名、推奨する
本の題名や対象区分を明記の上、はがき、FAXまたは電
子メールで埼玉県青少年課までお送りください。

5 送付先

〒330-9301

さいたま市浦和区

高砂3-15-1

埼玉県庁青少年課あて

電話番号 048-830-2914

FAX番号 048-830-4754

電子メール a2905-01@pref.saitama.lg.jp



私の幼稚園日記

子どもたちの心をくすぐりたい 八潮幼稚園 田中 ひとみ

幼稚園教諭になり十二年が経ち、今は教務主任という立場で保育に携わっています。私が今まで保育に力を注げたのには理由があります。それは本園の教育実践である三つの視点が、私の教育理念と合致していた事だと思います。一つ目は健康教育です。広く高低差がある園庭を走ったり跳んだり、思いきり体を動かします。二つ目は知育教育です。知恵の実あそびの教材により、詰め込み教育でなく考える力を伸ばします。

三つ目は自然教育です。園内には樹木や草花や昆虫が豊かで、自然を見る目を養います。これら三点を本園は“遊びを通して”保育実践しています。先日こんな事がありました。戸外遊びに出掛けいて虫捕り網を片手に「チョウチョウとバッタを捕まえます。」と意気込んでいる子がいました。友達と一緒に広い園庭を探検し、遊び終えて戻ってくると手に持ったカップの中には、椎の実と小さなミミズが一匹入っていました。その子の目的は果たせずにいましたが、周囲の友達と担任の受け止めや盛り上げにより気持ちが一転し、宝物のように大切に持っていました。そして私もすかさず寄り添い、椎の実を用いての遊び方を教えました。その子はニックリ微笑みました。



色々な一番

東岩槻幼稚園 本倉 夏実

子どもたちは「一番」が大好きです。幼稚園で日々過ごしていると、一番を競い合う子どもたちをよく目にします。

二学期に入り、運動会を終えたばかりの子どもたちは、競技を通して勝った時の喜びや負けた時の悔しさを経験して、様々な場面で友だちと順位をつけて楽しむようになります。椅子に早く座った一番。トイレから早く部屋に戻った一番。お弁当を早く食べた一番。そんな一番が好きな子どもたちと接する時、私は「色々な一番」を大切にしています。例えば、ある日の身支度の時間です。A君とB君は競い合うように着替え始めました。急いで着替えを済ませ、「先生、ぼく一番」と嬉しそうに教えてくれるA君の横で、B君は悔しさでいっぱいの表情です。し

かし、B君は洋服をきれいにしたためた一番でした。もちろん、素早く着替えられたA君はとても立派ですが、A君に「すごいね」と声を掛けると同時に、B君の一番を見つけられる先生でありたいと思っています。

一番を経験することは、「できた!」という自信につながります。その自信が次の新しいことに挑戦しようとする気持ちを引き出してくれるのでないかと考えています。つた!

かた! そのではいかと考へています。つい速さで一番を決めてしまいがちですが、ゆっくりで丁寧に活動に取り組む子、友だちを助けながら取り組む優しい子など様々です。たくさん子どもたちと共に成長していくたいと思います。

年長の男児をもつ母親です。登園する身支度や食事の時間、使った物の片づけ、手洗い、寝る前の支度など時間がかかり、つい叱ったり、口を出してしまいます。どのように対応したらよいでしょうか。4月から小学校ですので、自分から進んでできるようになるか心配です。



Question

子育て相談 Q&A

Answer

生活習慣、身支度など興味がないとどうしても、やらされている気持ちで、ぐずぐずしていることもあります。大人でもそうですが、子どもにとつて特に取りかかるまで時間がかかるものです。そんなお子さんを目の前にすると、つい「早くしなさい」「ダメでしょ!」など叱ってしまうでしょうが、まずは興味が持てるように楽しく取り組めるよう考えてみましょう。年長児ですから時計を見ながら時間の目標をもって取り組んでみたり、「1・2・3…」と数を数えていくつまでなど、お子さんと話し合ってみるのもよいと思います。毎日の生活の中で、少しでも変化に気づいたらたくさん褒めてあげてください。できたことを認めてもらえると、とても嬉しく興味もでてくるでしょう。ゆとりをもったお母さんで、ぐっとこらえて黙ってまかせることも必要かと思います。時間をかけぐずぐずして自分が困ることに気づいたり、少しづつ自覚し自発的に行うようになると思います。

(川村由美子)



